

# 第7回ワダイの防災ジオツアー

## The 7th Disaster Prevention Geo Tour in Wakayama

田内 裕人<sup>1,2</sup>, 江種 伸之<sup>1,2</sup>, 此松 昌彦<sup>1,3</sup>, 後 誠介<sup>1</sup>, 本塚 智貴<sup>4</sup>

<sup>1</sup>和歌山大学 災害科学・レジリエンス共創センター, <sup>2</sup>和歌山大学 システム工学部,

<sup>3</sup>和歌山大学 教育学部, <sup>4</sup>明石工業高等専門学校

### 1. はじめに

2020年3月に実施予定であったものの、新型コロナウイルス感染症の影響で延期が続いていた、第7回ワダイの防災ジオツアー「土砂災害地とジオサイトから防災を考えよう！」(以下、「本ツアー」と記す)の実施を目指し、準備を行ってきた。2021年9月、2022年2月および3月での実施をそれぞれ準備を進めたものの、同感染症の拡大によって、2021年度も延期を余儀なくされた。ここでは、本ツアーの概要について紹介する。

### 2. 本ツアーの概要

#### 2.1 目的

本ツアーは、「土砂災害地とジオサイトから防災を考えよう！」をテーマとし、2011年台風12号に発生した大規模斜面崩壊の原因と、周辺地域の地質と文化を知る防災啓発活動の一環として実施予定であった。ツアーコースは、大規模斜面崩壊地として田辺市伏菟野の崩壊地を見学するものである。また、ジオサイトとしては、地域の防災の歴史を知ることが可能な富田川の彦五郎堤防と、紀伊半島を形成する代表的な地質である付加体の様子を知ることが可能なフェニックス褶曲の2か所を取り上げ、それぞれ見学する予定となっている。崩壊地とジオサイトにおいて、対策工の事業担当者、地質の専門家および被災自治体の住民から解説いただき、崩壊の原因と対策、地質的なバックグラウンド、地域の声・文化が繋がって理解できるツアーとなっている。

#### 2.2 行程

表1は、本ツアーの具体的な行程表である。感染

症予防対策を徹底するため、参加者は自家用車により各サイトに自ら集合、移動する形態をとっている。

### 3. 今後の展望

度重なる延期があったものの、実施に向けた準備は概ね完了しており、2022年度に同行程・内容のツアーを実施予定である。また、感染症の状況が落ち着くようであれば、第6回以前のバスツアー型ツアーと同様の形態<sup>り</sup>での実施も検討する予定である。

### 参考文献

- 1) 和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センター：ワダイの防災ジオツアー開催実績, [http://web.wakayama-u.ac.jp/~egusa/bousaigeo\\_toureport.html](http://web.wakayama-u.ac.jp/~egusa/bousaigeo_toureport.html) (2022/5/6 アクセス)

表1 本ツアーの行程表

時間	場所	内容
9:15	伏菟野災害復興記念碑前	集合・受付開始
9:25		受付終了
		解説・見学・写真撮影
9:45		各車出発
9:55	伏菟野の崩壊地・対策工	到着
		解説・見学
11:10		出発
11:50	彦五郎公園・堤防	到着
		解説・見学
12:15		各車出発
12:25	上富田文化会館	到着
		昼食・トイレ休憩
12:55		各車出発
13:45	フェニックス褶曲	到着
		解説・見学
15:30		駐車場 到着
15:45	各自家用車 車内	まとめ・アンケート 各自解散